

HOW TO INSTALL

インストールからディスクイメージ作成、NRDSEL 実行までの流れを解説します。

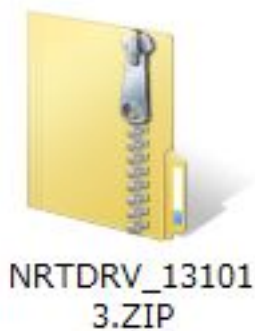
元記事は BouKiCHi 氏のブログです (すでに本人の意向で削除されています)。

NRTDRV のインストール

- ・ NRTDRV(本体、NRDSEL 同梱)
- ・ 7z(コマンドライン版、GUI版)
- ・ pasmo(z80 assembler)
- ・ hoot(演奏用)

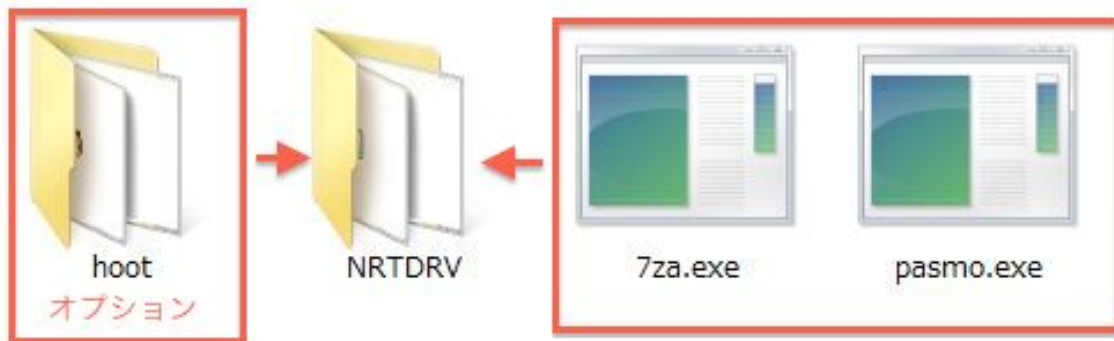
解凍

NRTDRV をデスクトップなどに解凍します。



実行ファイルの準備

7za、pasmo、hoot を解凍し NRTDRV のフォルダにコピーします。



hoot は PC 上で演奏する際に必要になります。

解凍には 7zip の GUI を別途インストールして利用するのが便利です。

曲データの準備

付属している SAMPLE01.MML を開き、コンパイルします。SAMPLE02.MML も同様にコンパイルします。



NRDSEL のインストール

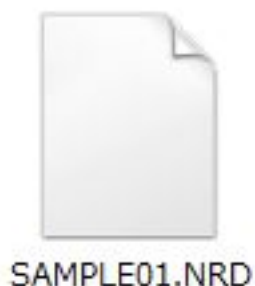
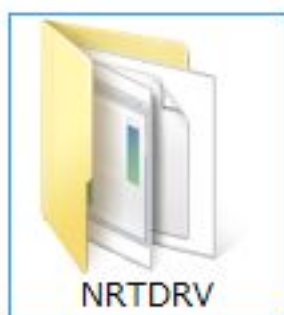
- [HuDisk](#)
- [MS-DOS Player for Win32-x64](#)
- [X millennium v0.26 T-tune STEP 1.43 + ikaTune release 5](#)

準備

NRTDRV のフォルダに [HuDisk.exe](#) をコピーします。

曲データのコピー

MML をコンパイルして生成された ZIP アーカイブから SAMPLE01.NRD と SAMPLE02.NRD を NRTDRV のフォルダにコピーします。



ディスクイメージ作成

コンパイラの「ファイル(F)」 「[NRDSEL ディスクイメージ作成 \(D\)](#)」を実行します。

または、NRTDRV フォルダ内の D88MAKE_NRD.BAT を実行します。

以下はコマンドプロンプトで実行する場合の例です。

```
rem TURBO_MODE ... 0= 無印 X1 も対応 /0 以外 =turbo 専用モード
rem DISK_MODE .... 0=2D/1=2DD/2 以上 =2HD

cd source
..%pasm0 --err --equ TURBO_MODE=1 --equ DISK_MODE=0 NRDSEL.ASM ../NRDSEL.BIN
..%pasm0 --err --equ TURBO_MODE=1 DEFAULT.ASM ../DEFAULT.PCG
..%pasm0 --err TEXT.ASM ../TEXT.DAT
cd ..

hudisk --format --type 2d NRDSEL2D.D88

hudisk --add NRDSEL2D.D88 NRDSEL.BIN --ipl "NRTDRV/NRDSEL"
hudisk --add NRDSEL2D.D88 NRTDRV.BIN
hudisk --add NRDSEL2D.D88 DEFAULT.PCG
hudisk --add NRDSEL2D.D88 TEXT.DAT

hudisk --add NRDSEL2D.D88 SAMPLE01.NRD
hudisk --add NRDSEL2D.D88 SAMPLE02.NRD
```

エミュレータで実行

X millennium や eX1 などの X1 エミュレータを立ち上げて、BAT ファイルにて生成した D88 ファイルを選択、IPL Reset でリセットをします。

NRDSEL 実行時には X millennium のみでも動作しますが、X1turbo 高解像度モードでは曲タイトル漢字表示のために BIOS が必要になります。